

富士梱包資材株式会社

～梱包資材の販売から大型機械の梱包までトータルに～

荷造り用品の販売から各種部品や機器、大型機械の梱包まで、梱包資材の販売と多様な商品の梱包を専門に行う。大型の精密機械類の梱包では、発注元に出向いて作業する出張梱包にも対応。近年は障がい者やお年寄りの働く場ともなる段ボール梱包用の紙緩衝材製造を始め、社会貢献を目指す企業の姿勢を明確にしている。

創業は1976（昭和51）年。作業用品と梱包資材を扱う販売業として起業。各種作業着、地下足袋や長靴といった商品、荷造り用の粘着テープや荷造り用紐などを扱っていた。父親が都内で興した梱包業の栃木営業所を任されていたころ、梱包に使う鉄バンド引き締め機の注文が久喜市内の自宅にあり、根本純子社長は「周辺地域で需要があることを知り、ここで起業するきっかけになった」と語る。

そのころ久喜菖蒲工業団地の造成が進められ、顧客獲得への期待が膨らんだことも起業を後押しした。事務の女性と配送を担当する男性アルバイトとの3人で開業した当初は、チラシを配り宣伝したものの、固定客はなく、月に何度か軍手やあら縄といった一部の消耗



梱包木枠の製作作業



本社屋

品を購入する客が訪れるだけ。「営業の必要性」を痛感し、一人で事業所めぐりを始めた。女性の営業社員とみるや門前払いされることもあったが、足しげく通い話をするうちに、徐々に受注できるようになったという。翌1977年に久喜菖蒲工業団地の造成が完了。工場立地が進むにつれて顧客が増え、経営も軌道に乗りはじめた。

荷造り用品、資材の販売に加え、梱包の仕事を請け負うようになったのは、工業団地の顧客からの要請にこたえてのことだった。1982年、木箱や木枠を中心にした国内外向け輸送用の梱包業務を開始。1991年に大和根町（現加須市）に梱包工場を開設。2006年には久喜市下清久に新たな工場を展開して大和根町から移転した。水道やガスのバルブにはじまった梱包業務は、その後プレス機、ジーンズ衣料の金属ボタン付け機、電気設備のトランスなど大きさも重量も異なる多様な製品を扱うようになった。

『入荷して即日出荷が宿命」と梱包業務の厳しさを語る根本社長。素早い作業と正確さは職人技の世界と説明する。さらに重量や大

きさによって求められる強度が変わるため、綿密な力学計算が必要という。とりわけ海外向け梱包の強度には気を遣い、「開梱するのが大変」と発注元をうならせることもある。また、現場で梱包しなければ輸送できない精密機械などの場合、メーカーに出向いて梱包作業を行う。場合によっては港湾倉庫に行き、慣れない場所で輸出用製品の梱包作業をしたこともあったと話す。

梱包の多様性から受注単価を単純に提示できない悩みもある。「重量、縦横高さに応じてモデル料金を設定してあるが、梱包内容によって料金が変わることを発注元に納得してもらうまで説明する」。梱包強度や技術に加え、こうした対応が顧客に信頼され「クレームはありません」と根本社長。一方で従業員に対しては梱包管理士、包装管理士の資格取得を促し、取引メーカーに講師を頼み講習会を開くなど、人材育成にも力を注いでいる。受注に際し、営業担当の5人が最適な包装方法を考える社内コンクールを行い、最も適した方法を顧客に提案する取り組みも定着。互いに切磋琢磨することがスキルの向上、社員教育にもつながっている。

近年では、顧客の要請に応じた人材派遣、納品後の空トラック運用が無駄になることから、木くずや廃プラスチックなどの回収も始めた。段ボール回収では再生利用価値に気づ



箱詰め用の紙緩衝材製造作業

き、これを利用した梱包の隙間を埋める紙緩衝材の製造に着目。2009年に知的障がい者、お年寄りが働ける場として本社敷地内に紙緩衝材製造工場を開設した。工場の一角にはカラオケルームを設け、月に一度の割合で従業員が心おきなくカラオケを楽しみ、交流を深めている。

「奉仕」「感謝」「成長」を社是に掲げ、作業用品、梱包資材の販売と梱包業務に取り組んできた。知名度も高まった近年、映画の小道具に使う梱包箱の製作依頼や商品ディスプレイ棚の製作といった特殊な注文も舞い込む。根本社長は圏央道工事の進捗に合わせて進出計画が浮上する業界の動向を展望し、「今後競争は激化しそうだが、物流業の進出もあることで梱包の仕事も確実に増える」と予測。「業務分担をしっかりとさせる組織整備に力を入れていきたい」と意気込みを語る。



根本 純子 社長

企業概要 富士梱包資材株式会社

代表者 根本 純子
 設立 1976年
 資本金 5,000万円
 従業員 パートを含め35人
 事業内容 包装・梱包資材、物流機器の販売。国内外輸送用の木箱、木枠梱包。産業廃棄物収集運搬。工場・倉庫のリフォームなど
 本社 久喜市本町4-6-16
 電話番号 0480-22-7987 FAX 0480-22-7989
 取引店 久喜支店